

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和5年2月28日

事業所名:ここぶらす坂之上

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○		規定や加配人員を超える配置を行っている。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		感染症対策のため、午前・午後の利用者入れ替わりの際にもフロア、玩具類の消毒を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		業務において、目標設定後の振り返りができていないことがある。振り返り時期を明確にしながら、業務改善に向けて動いていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			ご意見を頂いた際には、参考にし、検証し改善を図っていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページに掲載している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	令和4年1月に行政により実地指導を受けている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			令和5年4月より、新しいアセスメントツールを導入していく予定。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			面談に遅れが生じる場面があったため、個別支援計画の管理ソフトにて、面談時期を事前に把握し、保護者にも共有していく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終礼にて情報の共有を行っている。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録の作成を行っているが、記録をもとに具体的な検証・改善には至っていないケースもある。終礼時の情報共有と合わせて、検証し、支援の改善へと繋げていく。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			今後、現場職員も一緒に会議の場に入っていきけるよう調整していく。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				現在医療的ケアが必要な子どもの受け入れがない。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				現在医療的ケアが必要な子どもの受け入れがない。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		児童発達支援から保育園等へ移行した事例がない。移行事例がある際には、情報提供を行っている。	
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		情報提供等を行っている。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		助言を受ける機会はないが、公開療育や研修の参加を積極的に行っている。	
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		保護者からのご要望に合わせて、実施を検討する。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		部会への参加はできていない。今後、開催時期等情報収集を行っている。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	ペアレントトレーニングは行っていないが、面談等で助言を行っている。	保護者からのご要望に応じて、今後実施を検討していく。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時には必ずご説明を行っている。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談があった際には随時、お電話での対応か面談の実施を行っている。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		今後保護者同伴の活動や保護者会を実施予定。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に1回お便りを配布している。また月1回専用ホームページ内にて活動内容の記録を公開している。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		相手に伝わりやすい方法での情報伝達を意識している。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		感染症予防の観点から、地域住民を交えての活動等は行っていない。感染症の状況を見ながら、地域に開かれた事業運営を行っている。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			保護者への周知が行えていない。内容に関しても、改善が必要である項目があるため、4月を目途に改定していく。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年間計画をもとに避難訓練を実施している。	
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時に発作や服薬の有無について確認している。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		現在食物アレルギーのある児童がいない状況。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)